

企画提案書

団体名：NPO 法人 アートコネクトしずおか

1 プロジェクト名

コロナ禍で立ち入りの制限された病院

子ども患者たち（患者）の不安や悲しみを癒す病院内空間創造プロジェクト

「病院内テーマパーク化アートプロジェクト」

2 プロジェクトの概要（市民ニーズや当制度を活用する意義を踏まえて記載してください。）

病気の治療を最優先に日々を過ごす子どもや入院患者たちは、治療が終わると多くの時間を退屈に過ごしていることも多く、付き添う母親や親類家族も疲弊しているケースがあります。

病院での日常生活は「治療」が最優先され、病院内で過ごす時間は「不自由」で「拘束された時間」となります。患者に日常的に接し、治療に寄り添う看護師や介護福祉士たちも診療や業務に忙殺されており、メンタル的なカウンセリングもカウンセラーが担当することになってはいるものの個々の心のケアまでは十分に行き渡っていないのが現状です。

しかも現在はコロナ禍の影響により、外部からの立ち入りが家族であっても厳しく制限されていることもあり、病院内の子どもや患者たちは身近な家族の声さえも聞くことができません。

心の拠り所のない状態が続き、苦しく辛い治療や先の見えない不安や悲しみ、寂しさに打ちひしがれている患者やそのご家族が病院内には確実に存在しています。

しかしながら病院施設は、その清潔（メンテナンス性）と治療効率を最優先するという役割上、無機質で何の色もない寂しい空間となっている様が現状で、入院患者さんにおいてはその無機質で明るさや楽しさの無い空間内で不安と闘いながら過ごしているのです。

子どもにおいては病院へ行くことを嫌がります。大人であっても逃避したくなる日常。

それは治療の苦痛や恐怖もありますが、何より病院には「楽しみがない」ことにあると思います。

そんな不安を抱えて日々を過ごしている（心が折れそうな）患者が笑顔になれる場所や機会（きっかけ）が少しでもあれば…。

不安や悲しみ、寂しさを少しでも和らげ、前向きになれるきっかけをつくることができれば。

患者に寄り添う家族の力になれば。

この活動は1回や2回で終わらせてはいけない活動だと考えています。続けていくことが大切です。

こうしている間にも病院で寂しさや不安を抱えている子どもや患者が大勢います。

心の不安を取り除き、笑顔を。そして患者と寄り添う家族に愛の繋がり、絆を育むために。治療に前向きにとらえ、ポジティブに日々を過ごしてもらえたら。

そんな思いからこのプロジェクトを立案致しました。

3 取り組みたい社会的課題

【現状の課題】

- ① 本来精神の安定と心の安らぎを必要とするべき病院施設には癒しの空間が少ない。
- ② 受診や検査時においても待ち時間が長く無機質な空間に長時間置かれやすい。
- ③ 病院内では会う人や機会を制限されることも多く、日常的にやることがなく変化に乏しい。
- ④ コロナ禍の影響により大切な人が入院している際にも家族保護者をもってしても面会を制限又は謝絶されることも多く、入院または診療患者に寄り添うことができず精神の不安と寂しさを与えるリスクも上がっている。
- ⑤ 孤独や不安、寂しさや苦痛、恐怖に無機質な空間で耐えている。
- ⑥ 楽しめる外部の刺激・コミュニケーションから隔離されている。

【解決策 対策】

アートをを用いて楽しい病院空間を演出

「病院内テーマパーク化アートプロジェクト」を実施(コロナ禍の影響や病院側の対応を加味して設定)
下記3事業を病院側と相談の上実施

【実施プロジェクト①】

ホスピタルクラウンが院内・ロビー内(小児科等含)を盛り上げるパフォーマンスを実施。

治療待ちの患者や子どもたちに接して治療頑張っねて勇気のシール又はお守り等のグッズを配布

※病院側から許可された場所で実施予定(病棟、ロビー、待合、ラウンジ、休憩コーナー等)

【実施プロジェクト②】

障害者アートを使ったヒーリングアート(癒しのアート)の設置(壁面アートの採用)

静岡県内で活動する障害者アート作家より「元気になる」「癒される」アートを提供頂き、病院内の患者の目に留まる箇所へ大判に印刷し壁面アートとして設置。

障害者作家へは作品提供のフィーを支払うことで社会参加、創作意欲の向上、自立へ向けた活動実施等のメリットもある。

【実施プロジェクト③】

診療や待ち時間に気軽に活用できるアートワークショップの開催(絵手紙を描こう)

病院側と交渉し、実行可能な病棟、ロビー、待合、ラウンジ、休憩コーナー等に小さなスペース(ブース)を設け、無償で患者本人や付き添い見舞いの家族、治療待ちの方が気軽に参加できてプレゼントしやすいアート絵手紙等のワークショップを実施する。

※材料や担当者等の費用の一切をアートコネクトしずおかで負担します。

4 事業計画・実施スケジュール

毎月病院側と相談した上で1回～数回程度開催を目標とし、実施に関しては実行予算と病院側の要望を踏まえ決定。下記の流れで実施予定。

(1) 企画概要説明・主旨チラシ製作（印刷）

WEBサイト制作（今後の実行スケジュールや案内、実施内容を掲載～SNSともリンク）

(2) 開催希望病院募集開始（静岡済生会総合病院は実施実績と企画課との遂行実績有）

静岡市内（県内）の病院施設へ打診。

必要であれば赴いて呼び掛け～打合せを行う。

インターネット SNS 等・チラシ配布設置・FAX 等利用

(3) 実施病院の決定 実施内容・スケジュール選定（病院側の意向に沿う）打合せ

ホスピタルクラウン、アートワークショップ担当者等と実施日程含めた打合せ

壁面アート実施についてはアート選定及び施工業者～病院側との打合せ

(4) アートワークショップの開始・壁面アート施工実施

インターネット SNS 等・チラシ配布設置・FAX 等利用

同時に媒体メディアへの取材依頼（TVやラジオ、新聞等）

5 法人としての活動概要

【すべては誰かの喜びのために】

わたしたちは2017年5月発足したアートやデザインの専門性を有する静岡市のNPO法人です。

当法人は広告デザイナー、イラストレーター、学芸員、建築士、インテリア・プロダクトデザイナー、ディスプレイ、教員・講師などで構成され障がいのある方々や病と闘う子どもたちを応援し、社会・企業と繋げる活動をしています。

NPO法人アートコネクトしずおかの主な事業

② 病とたたかう子供たちのためのアートワークショップ企画運営

② 障害者アート普及 展示・レンタル・販売プロデュース支援

③障害者施設の授産製品デザイン・販売促進プロデュース支援

③ 病院内出張「演劇・パフォーマンス」企画運営

団体名：NPO法人アートコネクトしずおか

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、効果など）

当NPO法人はデザインやクリエイティブ分野の専門家と教員経験者と現役のデザイン学校講師、学芸員が所属する専門性のある団体です。

そしてマーケティング、ブランディングなどの販売促進の要となる支援を行うことが出来ます。

又、本法人が運営するギャラリーを企画運営してきた経緯から、効果的な展示方法の教授にも柔軟に対応できます。

障害者施設、個人、B型事業所とのやり取りや、アート・デザインや販売アドバイス等の支援はすでに経験済みであり実績を持っています。現在も障害者支援に関する事業を運営中です。

障害者事業所との信頼関係もこれまで地道に築いてきた経緯があり、障害者事業所の抱える問題を間近で体験し把握しており、本事業の重要性を身をもって感じています。

当法人はワークショップ開催や壁面アート設置等の企画で

静岡済生会総合病院、静岡県こども病院、静岡てんかん神経医療センター、静岡医療福祉センター等との活動実績があります。

7 目標金額

2,300,000円

積 算 書

特定非営利活動法人アートコネクトしずおか

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金		病院内テーマパーク化アートプロジェクト	2300 千円
合 計			2300 千円

支出			千円
	科目	内容・数量	金額
管 理 費			千円
事 業 費	①ホスピタルクラウン 人件費 謝金 消耗品費	ホスピタルクラウンによる病院ロビー内パフォーマンス	合計 700 千円 150 千円 450 千円 100 千円
	②ヒーリングアート 人件費 支払い報酬 外注費	病院内ヒーリングアート設置	合計 660 千円 220 千円 140 千円 300 千円
	③ワークショップ 人件費 消耗品費	待ち時間ワークショップ	合計 382 千円 300 千円 82 千円
	④その他 広告宣伝費 旅費交通費 打合会議費 通信費		合計 230 千円 50 千円 100 千円 30 千円 50 千円
そ の 他	手数料相当	13% + 税	328 千円
合 計			2300 千円